

## 「北九州市産業振興未来戦略（素案）」に対する 市民意見募集結果について

「北九州市産業振興未来戦略（素案）」に対する意見募集に、貴重なご意見をいただきました。ご意見の概要及び市の考え方を下記のとおり公表いたします。

なお、ご意見の内容は一部要約又は分割して掲載しておりますので、ご了承ください。

### 記

## 1 意見募集期間

令和6年2月9日（金）から令和6年2月29日（木）まで

## 2 意見提出状況

(1) 提出者 22人・団体

(2) 提出意見数 70件

(3) 提出方法

ア 持参等 10人・団体

イ 電子メール 12人・団体

(4) 提出意見の内訳及び北九州市産業振興未来戦略（素案）への反映結果

区分	件数	反映結果			
		掲載済み ※1	追加修正 する	追加修正 しない※2	その他
戦略全般に関する意見	11	6	0	5	0
個別の戦略・方策等に関する意見	47	25	0	22	0
検証指標に関する意見	6	0	2	4	0
推進体制に関する意見	3	2	0	1	0
その他	3	0	0	3	0
合計	70	33	2	35	0

※1 掲載済みには、一部掲載を含む

※2 追加修正しないには、今後の参考等とするものを含む

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
<b>①戦略全般に関する意見</b>			
1	行政区ごとに方針や戦略を打ち出してはどうか。	本戦略では、「稼げるまち」の実現に向けた、北九州市全体で取り組む産業振興の方向性を示しております。ご意見にある行政区ごとの視点については、主に観光分野において、各区が持つ都市機能や自然など地域資源を活かした取組を進めてまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
2	統一感のある政策に取り組むべき。	本戦略は、「地域企業の成長・発展と高付加価値化」「産業の裾野を広げる成長産業の創出」「民が主役の資源活用」といった大きな方向性を示す3つの戦略、これらを実現するための6つの横断的方策と30の主な施策からなる施策体系を構築しており、これらを総合的に推進することで「稼げるまち」の実現を目指してまいります。	①既に掲載済
3	経済界と市が一体となって地域の中小企業を支援する取組が必要。	今後、「(仮称)北九州市産業共創プラットフォーム」を設置し、産学官金が一体となり、街ぐるみで「稼げるまち」の実現を目指す体制を構築してまいります。	①既に掲載済
4	現状を把握し、データに基づく施策を推進すべき。	本戦略の策定にあたって、産業振興に関する詳細なデータ分析に加え、次世代自動車や半導体、宇宙などの未来産業に関するポテンシャル調査など、客観的な指標やデータを重視してまいりました。今後も、客観的な指標やデータに基づく効率的・効果的な施策の展開に取り組んでまいります。	①既に掲載済
5	現状を把握し、データに基づく施策を推進すべき。	本戦略の策定にあたって、産業振興に関する詳細なデータ分析に加え、次世代自動車や半導体、宇宙などの未来産業に関するポテンシャル調査など、客観的な指標やデータを重視してまいりました。今後も、客観的な指標やデータに基づく効率的・効果的な施策の展開に取り組んでまいります。	①既に掲載済
6	福岡市と北九州市の違いを分析すべき。	本戦略の策定にあたって、福岡市を含む他の政令指定都市との比較などを行いながら、産業振興に関する詳細なデータ分析などを実施してまいりました。今後も、客観的な指標やデータに基づく効率的・効果的な施策の展開に取り組んでまいります。	①既に掲載済
7	経済成長を最優先課題と位置付けたことは高く評価できる。「産業基盤のポテンシャル開花」は、6つの横断的方策の中で最も重要。ポテンシャルを活かし、未来を担う重点産業の誘致を推進していくことが大切。	ご意見ありがとうございます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
8	北九州空港が半導体・次世代産業の物流基地として活用され、ポテンシャルや強みを活かした、北九州ならではのストーリーが描けるとよい。	ご意見ありがとうございます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
9	市内にどのような人材が眠っているのか、どんな資格をもつ人々がいるのかなどを調査し、そうした人材をいかに活用するかという戦略が必要。	今後、全国的な人手不足が予測される中、地域経済を活性化させていくためには、市外から人材を受け入れるだけでなく、本市に潜在する人材を併せて活用していく視点は重要と考えております。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
10	グローバルな視点が不足している。海外企業との連携やアジア近隣諸国の企業とのジョイントベンチャーの推進などの記述が弱い。	方策①「産業基盤のポテンシャル開花」の(4)「アジア諸国の成長力を取り込む対日投資の促進」の中で、成長著しいアジアなど海外でのプロモーション活動を強化し、海外スタートアップの誘致など対日投資の促進につなげてまいります。	①既に掲載済

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
11	経済停滞の要因として、供給と需要の側面からも整理してほしい。例えば、供給面では「全要素生産性（TFP）」は全国平均よりも低いことが予想され、需要面では市外・海外市場の開拓が極めて重要だが、ポテンシャルを十分に生かしていない。	労働と資本以外の（技術の進歩や生産の効率化など）生産性を高める要因を示す「全要素生産性」は、国等において、経済の成長やイノベーションの評価を行う上で活用されている有用な指標と認識しております。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
<b>②個別の戦略・方策等に関する意見</b>			
12	熊本をベンチマークとし、半導体企業を誘致してほしい。	ご意見を参考とさせていただきながら、方策①「産業基盤のポテンシャル開花」の(2)「経済安全保障の観点から踏まえた重点分野等の誘致促進」の中で、半導体をはじめとした重点分野等の誘致促進に取り組んでまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
13	小倉城とアニメ（バガボンド）のコラボ企画をしてはどうか。	ご意見を参考とさせていただきながら、方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、観光資源の磨き上げ等に取り組んでまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
14	大学は文系が多く、就職先は理系が多い現状のギャップ解消。	方策④「DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備」の(1)「将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり」の中で、文系・理系を含めた大学生と地元企業のマッチング強化に取り組んでまいります。	①既に掲載済
15	スペースワールドの復活を検討してほしい。	北九州市の賑わいを創出し、若者を中心とした人の流れをつくるには、魅力的な観光資源の発掘や磨き上げ、国内外の若者を惹きつけるエンターテインメントの推進が必要と考えております。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
16	サービス業における教育を重視すべき。	ご意見を参考とさせていただきながら、方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(4)「商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進」の中で、従業員への教育を含めたDX推進等による生産性向上に取り組んでまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
17	宇宙分野の産業振興に取り組むべき。	方策②「学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進」の(1)「将来の経済成長を力強く牽引する未来産業の振興」の中で、産学官連携による研究開発や地域企業の参入の推進に取り組んでまいります。	①既に掲載済
18	人件費の安さを前面に出した誘致に取り組むべき。	「稼げるまち」の実現を目指していく上で、雇用者の報酬については、「優れた人材を引き寄せ、定着させる」「市内総生産の約6割を占める個人消費に大きな影響を与える」ため、これを高める取組が重要であり、本戦略では、大きな方向性を示す戦略の1つとして、「地域企業の成長・発展と高付加価値化戦略」を掲げ、地域企業の稼げる企業への変革を推進していくこととしています。 なお、企業誘致については、方策①「産業基盤のポテンシャル開花」の(1)「バックアップ首都の推進」や(2)「経済安全保障の観点から踏まえた重点分野等の誘致促進」の中で、人件費の安さではなく、北九州市が持つ、自然災害リスクの低さや充実した物流インフラなどの豊富なポテンシャルを最大限活用した取組を進めてまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
19	中小企業が労働力を確保できるような施策を行うべき。	方策④「DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備」の(1)「将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり」(4)「地域経済の担い手である中小企業を支える人材の確保・育成」の中で、若者の地元就職の促進や中小企業の採用力強化などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
20	社会全体が価格転嫁にシフトできるような機運醸成が必要。	ご意見を参考とさせていただきながら、戦略①「地域企業の成長・発展と高付加価値化」、方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の中で、中小企業の経営基盤の強化と高付加価値化を推進し、地域企業の稼ぐ力を高めることで、価格転嫁につなげてまいります。 また、機運醸成については、福岡県や北九州商工会議所などの経済団体と連携・協力し、様々な機会を通じて、「パートナーシップ構築宣言」の趣旨を呼びかけ、価格転嫁や取引適正化が促進されるよう努めてまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
21	起業したスタートアップをどのように育成していくかが重要。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(5)「スタートアップと多様な掛け合わせによる新たな価値の創造」の中で、市内企業、大学、ベンチャーキャピタル等と連携して、成長支援（資金支援、伴走支援）の強化などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
22	半導体の誘致にあたっては、人手不足など地場企業への影響も考慮すべき。	ご意見を参考とさせていただきながら、方策①「産業基盤のポテンシャル開花」の(2)「経済安全保障の観点で踏まえた重点分野等の誘致促進」の中で、人手不足など地域経済の要である中小企業への影響等も十分に踏まえながら、半導体企業の誘致を進めてまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
23	学研都市のポテンシャルを活かすべき。	方策②「学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進」の(1)「将来の経済成長を力強く牽引する未来産業の振興」の中で、学術研究都市の「知的資源」、高度・専門的な「人的資源」等のポテンシャルを活かした産学官連携による研究開発や高度人材の育成などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
24	スタートアップに投資し、地域貢献を促す視点には共感できる。	ご意見ありがとうございます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
25	外国人が多く集まる観光施設へ重点投資すべき。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で魅力的な観光資源の発掘や磨き上げなどにより、観光都市としての魅力とプレゼンスを高めてまいります。	①既に掲載済
26	門司港レトロ地区については、商店街を含めた回遊性を高める工夫が必要。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、関門海峡の魅力を活かしたブランディングや回遊性の向上に取り組んでまいります。	①既に掲載済
27	企業誘致は重要だが、既存企業の流出も防がなければならない。	ご意見を参考とさせていただきながら、戦略①「地域企業の成長・発展と高付加価値化」、方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の中で、中小企業の経営基盤の強化と高付加価値化を推進し、地域企業の稼ぐ力を高めてまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
28	人手不足の解消には、特に大学生の地元就職率を向上させる取組が重要。	方策④「DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備」の(1)「将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり」の中で、大学等と連携した業界研究やインターンシップ等を通じた市内企業の魅力発信等に取り組み、地元就職率の向上に取り組んでまいります。	①既に掲載済
29	若者の流出を防ぐため、まちの賑わい創出を図る必要がある。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」や(5)「国内外の若者を惹きつけるエンターテインメントの推進」の中で、北九州市の賑わいを創出し、若者を中心とした新しい人の流れをつくってまいります。	①既に掲載済
30	若者（女性）に人気のある集客力ある商業施設等を誘致すべき。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(4)「商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進」の中で、若者に支持されるサービス産業の誘致（大型空き店舗へのテナント誘致）、若者・女性を惹きつける魅力的な産業の振興（コンテンツ産業等）などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
31	小倉城周辺の回遊性を高める必要がある。	ご意見を参考させていただきながら、方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、歴史・文化から食・エンタメまで、多様な魅力があふれる「都市型観光拠点 城下町小倉」として、域内周遊に取り組んでまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
32	小倉リビテーションに係る規制緩和を行ってほしい。	北九州市の賑わいを創出し、若者を中心とした新しい人の流れをつくる上で、民間開発の誘導とIT企業等の誘致は重要な視点と考えております。ご意見の内容については、そうした取組を推進していく上で、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
33	若者などに人気のある集客力のある商業施設を誘致すべき。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(4)「商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進」の中で、若者に支持されるサービス産業の誘致（大型空き店舗へのテナント誘致）、若者・女性を惹きつける魅力的な産業の振興（コンテンツ産業等）などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
34	ホテル誘致などの再開発に取り組むべき（外国人が宿泊できる施設が不足している）。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、観光都市としての魅力とプレゼンスを高める取組を通じ、旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致などにつなげてまいります。	①既に掲載済
35	ホテル誘致などの再開発に取り組むべき（大きなイベントが開催できるホテルが不足している）。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、観光都市としての魅力とプレゼンスを高める取組を通じ、旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致などにつなげてまいります。	①既に掲載済
36	工場誘致だけでなく、商業施設の誘致にも取り組むべき。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(4)「商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進」の中で、若者に支持されるサービス産業の誘致（大型空き店舗へのテナント誘致）などに取り組んでまいります。	①既に掲載済

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
37	女性に人気のある集客力ある商業施設等（飲食店、レストラン等）を誘致すべき。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(4)「商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進」の中で、若者に支持されるサービス産業の誘致（大型空き店舗へのテナント誘致）、若者・女性を惹きつける魅力的な産業の振興（コンテンツ産業等）などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
38	最先端の商業施設を呼び込むためには、インセンティブをつける必要がある。	ご意見を参考とさせていただきながら、方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(4)「商業・サービス産業の生産性向上、多様な新サービス産業の集積促進」の中で、若者に支持されるサービス産業の誘致（大型空き店舗へのテナント誘致）、若者・女性を惹きつける魅力的な産業の振興（コンテンツ産業等）などに取り組んでまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
39	稼げるまちにしていくために、インバウンド拡大のためのホテル誘致などまずは一つ、二つからでも良いので具体的な行動を起こしてほしい。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、観光都市としての魅力とプレゼンスを高める取組を通じ、旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致などにつなげてまいります。	①既に掲載済
40	新規ビジネス創出のためステークホルダーが集まる場（コンソーシアムなど）を提供してもらいたい。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(5)「スタートアップと多様なかけ合わせによる新たな価値の創造」の中で、多様化・複雑化する行政・地域課題や大企業・中小企業が抱える課題を集約化・見える化・共有化する「（仮称）イノベーション共創プラットフォーム」を構築し、スタートアップが有する新しい技術や斬新なアイデアとのマッチングを推進していきます。	①既に掲載済
41	地元企業の人材確保は大きな課題であるので、しっかり取り組んでもらいたい。	方策④「DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備」の(4)「地域経済の担い手である中小企業を支える人材の確保・育成」の中で、マッチング機会の提供や人材採用に係るセミナーの開催、企業合同による魅力発信・人材採用・育成・定着までの一貫した取組などを推進してまいります。	①既に掲載済
42	中堅企業に対しての支援に期待している。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(3)「地域中核企業の飛躍的成長への挑戦」の中で、M&AやIPO等による事業変革や企業規模拡大などの取組を進め、地域の中核となる企業の成長につなげてまいります。	①既に掲載済
43	中堅企業とスタートアップとのマッチングが進むような場を作ってもらいたい。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(3)「地域中核企業の飛躍的成長への挑戦」の中で、新しい技術や斬新なアイデアを有するスタートアップとの協業に基づいた事業変革の促進などに取り組んでまいります。	①既に掲載済
44	地元中堅企業と北九州市とが情報交換できる場を作ってもらいたい。	方策③「生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等」の(3)「地域中核企業の飛躍的成長への挑戦」の中で、地元中堅企業の声をよくお聞きしながら、そのニーズに即した施策の推進に努めてまいります。	①既に掲載済
45	北九州市を訪問するインバウンド客は大韓民国。そこをターゲットとしたPR、受入土壌づくり、北九州港へのビートル誘致などが必要。	人口減少による日本の経済成長率の低下が懸念する中、インバウンドの推進は、地域経済の活性化に大きく資するものと考えています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
46	ビジネス客の宿泊を呼び込むため、北九州市から福岡市間の新幹線代を助成してはどうか。	観光・宿泊業や外食業、小売業といった産業の売上や収益の増加につながるビジネス客の呼び込みは重要と考えています。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
47	ドローン産業は北九州市の活性化につながる。ロボットだけではなく、ドローンに関する教育や産業が必要ではないか。	物流や点検、測量、消防など、近年、多様な分野でドローンの利活用が進んでいます。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
48	これまで環境政策を推進してきたにも関わらず、北九州市の経済は低迷を続けてきている。グリーンテクノロジーは目的ではなく手段としてとらえるべき。	方策②「学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進」の(4)「北九州グリーンインパクト」の推進(5)「アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進」の中で、本市の強みであるグリーンとテクノロジーの力を掛け合わせて、環境目的の達成を図りながら、市内企業の国際競争力の強化や環境国際ビジネスの拠点化を目指してまいります。	①既に掲載済
49	「北九州グリーンインパクト」等の推進については、産業対応だけではなく、市民のGXに対する理解を深めるための普及活動も大事。	GXを推進していく上では、産業面での対応だけではなく、日頃からカーボンニュートラルを意識してもらうなど、GXに対する市民の理解も深め、市全体としてGX推進への機運を醸成していくことが必要です。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
50	メガリージョンの構築については、メガリージョンの定義を明確にした上で丁寧に議論すべき。	メガリージョンのイメージとして、福岡市や下関市、18市町で構成する連携中枢都市圏である「北九州都市圏」をはじめ、北部九州エリア全体で大規模都市圏（Greater 北部九州圏）と記載しており、アジアを見据えた産業や人材の集積、観光誘客を推進する「稼げるエリアづくり」に取り組んでいきたいと考えています。	①既に掲載済
51	これまで手つかずだった、地域の中核企業の成長が戦略に盛り込まれたことは評価できる。しっかりと取り組んでほしい。	ご意見ありがとうございます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
52	自社では、企業の人材課題解決支援を手掛けているが、今回の戦略には賛同する部分が多くある。企業課題にあった支援により、社員のいきがい向上、企業ビジョンが実現され、それが学生への魅力アピールにつながると思う。	ご意見ありがとうございます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
53	社会人を対象とした、産業都市としての歴史や、グリーンとテックを学べる「ビジネスキャンプ都市」としての発信をしてはどうか。	「ビジネスキャンプ都市」としての発信は、北九州市の産業プロモーションの促進と、高単価（宿泊・飲食面等）なビジネス客獲得の可能性があり、観光関連産業の活性化に資するものと考えられます。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
54	寿司をはじめとした食の魅力発信は観光客増につながる。また、例えば、再整備される旦過市場を「食の魅力発信拠点」としたり、早朝営業の店等を誘致し、朝食が楽しめる施設とすれば、市内宿泊や周遊の増加に繋がると思う。	ご意見の内容については、方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(1)「北九州市への関心呼び覚ます広報・ブランディングの推進」の中で、北九州市の寿司をブランド化し、それをフックとした宿泊・周遊促進に取り組んでまいります。また、旦過市場については、これから再整備が進む中で、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）

# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
55	24時間空港、新幹線停車駅、高速道路網などを活かし、ニューヨークタイムズに選ばれた山口市、別府、大分等との周遊観光プランを発信すれば、インバウンドの誘致拡大が図れる。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(4)「経済成長のエンジンとなるインバウンドの推進」、方策⑥「メガリージョンの構築」の(1)「エリアで惹きつける広域観光・インバウンド・MICEの推進」の中で、観光・インバウンド誘致を推進してまいります。	①既に掲載済
56	MICE開催の有効活用、天井の高い新たなMICE施設の建設、高級ホテルの誘致すれば、アジア周辺を中心とした誘客が図れる。	ご意見の内容については、方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、MICE誘致の強化や旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致などに取り組んでまいります。また、天井の高い新たなMICE施設の建設については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
57	1月に開催された市の転職イベントに参加したが、企業の支社の誘致に成功している点はとてもよいと感じた。途中参加者が流れに乗りづらい点などが改善されればさらによい。	ご意見ありがとうございます。より学生や転職者が参加しやすいイベントとなるよう努めてまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
58	生い立ちの異なる7つの区の個性を活かし、特定の魅力に重点を置いた観光拠点の整備（ジップライン、温泉、グランピング）等を行うことで、他の観光地に負けない魅力を持つことができる。	方策⑤「アテンションを集めるブランディング」の(3)「人を呼び込み、にぎわいを創出する観光・MICEの推進」の中で、北九州市の歴史・文化・自然・産業・食などの魅力的な観光資源の発掘や磨き上げに取り組んでまいります。	①既に掲載済
<b>③検証指標に関する意見</b>			
59	「労働生産性（全産業・第三次産業）」の表記は、並列では分かりづらいため、変更してはどうか。	全産業の中には第三次産業も含まれ、並列での表記では分かりづらいため、ご意見を踏まえ、「労働生産性（全産業・うち第三次産業）」という表現に修正しました。	②追加・修正あり
60	生産性を分析する指標としては、「労働装備率」「売上高付加価値率」などもあるため、追加の指標として検討してほしい。	従業員一人あたりの設備投資額を示す「労働装備率」及び売上高に占める付加価値額の割合を示す「売上高付加価値率」は、民間企業が同業他社との比較など財務分析を行う上で活用されている有用な指標と認識しています。ご意見の内容については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
61	方策⑥「メガリージョンの構築」の検証指標として、「スタートアップの資金調達額」「誘致件数」は不適當。メガリージョンの構築を直接的に検証できる指標であるべき。	本戦略では、方策⑥「メガリージョンの構築」の(3)「エリアで掛け合わせる広域連携スタートアップ支援の推進」の中で、広域でのスタートアップ支援の推進により、北部九州への投資や人の呼び込みや北九州市のスタートアップに首都圏の企業やVC等とのマッチングの機会を提供し、販路開拓や資金調達につなげることとしており、検証指標としては適當と考えています。また、メガリージョンの構築を直接的に検証できる他の指標の設定については、今後の参考とさせていただきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）



# 北九州市産業振興未来戦略（素案）に対する 市民意見の概要及び市の考え方

No	意見概要	回答案	反映状況
62	目標については、物価変動を加味した設定と毎年の修正が必要である。	本戦略では、6つの横断的方策において、「企業誘致件数」「労働生産性」「観光消費額・宿泊客数」など12項目の検証指標を設けており、それぞれの指標を達成することにより、最上位目標に位置付けた市内総生産4兆円の実現を目指してまいります。 なお、目標については、本戦略の推進状況や社会情勢の変化に応じ、適宜見直しを検討してまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
63	新規雇用創出数（誘致）を検証指標の一つに掲げているが、全体に占める若者の雇用数、正規雇用数も併せて設定すべき。	企業誘致による新規雇用者数に関して、採用する年齢層や、正規・非正規の割合などについては、企業ごとに考え方が大きく異なるため事前に想定することが困難であり、検証指標とすることは難しいと考えています。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
64	新卒学生の地元就職率を検証指標の一つに掲げているが、高卒・大卒等の別、文系・理系の別、男女の別についても設定すべき。	ご意見を参考とさせていただきながら、方策④「DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備」の(1)「将来を担う若者の地元就職促進と魅力的な職場づくり」の中に、理工系人材の地元就職率向上に係る取組の内容を追加しました。 なお、高卒・大卒等の地元就職率については、個別の事業の中で、属性に応じた取組を適宜進め、全体としての地元就職率の向上を目指してまいります。	②追加・修正あり
<b>④推進体制に関する意見</b>			
65	産業共創プラットフォームでは、いかに労働力を増やすかなど、広く利害が一致するテーマを選定すべき。	「（仮称）北九州市産業共創プラットフォーム」の中で設置する、「（仮称）北九州市官民対話テーブル」の中で、産業界と北九州市がタッグを組んで推進する産官連携リーディングプロジェクトを設定することとしており、街ぐるみで「稼げるまち」の実現を目指してまいります。	①既に掲載済
66	産業共創プラットフォームでは、一つひとつ成功事例を積み上げていくことが重要。	ご意見を参考とさせていただきながら、産業界と北九州市がタッグを組んで推進する産官連携リーディングプロジェクトなど、一つ一つ成功事例を積み上げ、成功の好循環を創出することを目指してまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
67	推進体制として、市内総生産額や検証指標群のPDCAサイクルの構築を上げているが、目標を達成できない場合の分析手法が甘い。毎年の実態調査により、現状把握と分析を行うべき。	戦略の推進体制については、「6つの横断的方策」に掲げた各種取組の進捗状況について、各KPIを点検・評価しながら把握するとともに、これにより明らかになった課題などに対応するための対策を明確化し、必要な施策の見直し・推進を行っていきます。	①既に掲載済
<b>⑤その他</b>			
68	いかに稼ぐかは企業の努力によるため、行政にはまちを活性化させていくことを望む。	北九州市のまちづくりの方向性を示す新たな基本構想・基本計画では、「経済成長」を最優先課題に位置付け、3つの重点戦略として、「稼げるまち」を起点に、「彩りあるまち」、「安らぐまち」を実現する「成長と幸福の好循環」により、都市の総合力を高めていくこととしており、国内外から人や企業、投資を呼び込んでいきます。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
69	国の補助金獲得に向け、市も民間事業者のスピード感に合わせて、一緒に努力してほしい。	新たな取組を支援する国の補助金には、自治体の主導が要件となっているものと承知しております。民間事業者の取組と歩調を合わせ、スピード感を持って対応してまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）
70	老朽化した市の施設を再開発し、稼げるまちへと繋げる視点も必要。	「稼げるまち」の実現には、再開発により土地や建物の価値を高めていくことも重要な視点であると考えております。ご意見の内容については、公共施設マネジメント実行計画に基づき、公共施設のリノベーションや移転・廃止後の跡地活用など、街なかの賑わいづくり等に取り組んでまいります。	③追加・修正なし（今後の参考等とする）